

2024年度アドバイザリーボードミーティング 議事概要

日時：2025年2月28日（金）17:00～19:00

場所：駿河台キャンパス 401号室

出席者：アドバイザリーボード（10名）、教員（10名）、事務局（5名）

欠席者：3名

資料1 2024年度アドバイザリーボードミーティングの開催について（ご案内）

資料2 戦略経営研究科アドバイザリーボードに関する内規

資料3 中央大学ビジネススクール戦略経営研究科紹介（プレゼンテーション資料）

開式後、戦略経営研究科教員の自己紹介が行われ、以下の点について、意見交換を実施した。

- ・今後の日本経済に必要なリーダーにはどのような能力が必要か。
- ・そのようなリーダーを育成するために必要な教育とはどのようなものか。
- ・CBSと産業界のさらなる連携には何が必要か。
- ・今後のCBSの国際化には何が必要か。

主な意見・議論内容

1. 日本経済に必要なリーダー像と教育

- ・コロナ禍を経て必要とされる能力は、「レジリエンス」「ビジョンメイクとリーダーシップ」・「チームスピリットとコミュニケーション」である。加えて「変革力」「グローバル」「ESG対応」が重要。CBSはチェンジリーダー育成をさらに訴求すべきである。
- ・管理職像が過重労働で魅力に欠ける点を問題視する。効率的に働き、ビジョンを示すリーダーが求められる。ビジネススクールは「学び続ける力」を育成することが大切である。
- ・CBSの強みは学生が自発的に職場課題を設定し学びと実践を結びつけている点である。これは他校にない特徴である。
- ・リーダーには社会を豊かにする志と目的意識が不可欠である。産業界とCBSがより密接に課題解決に取り組むべきである。

2. 国際化の推進

- ・英語による科目の充実が必要である。国際化を公言するなら積極的に導入すべきである。
- ・英語科目は開講しているが履修者が少ない。AMBAからも改善要請はある。
- ・海外スタディーツアーは良いが、円安も踏まえ海外学生受け入れの発想も重要である
- ・AI、データサイエンス領域の教育連携も課題である。
- ・外国籍人材の受け入れを拡大し、多様性を強化すべきである。

3. CBS と産業界の連携

- ・ CBS は産業界課題の解決に実践的に関与すべきである。
- ・ 他校との差別化として「社会課題解決型教育」「実務直結の学び」を強調すべきである。

4. 在校生・修了生の声と教育改善

- ・ 授業ごとのアンケートや修了生へのアンケートを実施している。改善提案としては、「グローバル科目の拡充」や「英語教育の強化」が挙げられる。
- ・ 学生は「平日オンライン+土日通学」や「幅広い専門科目」「学生・教員の近しい関係性」を CBS の特色として評価している。
- ・ 聴講生制度により修了後も学び続けられる仕組みを提供している。

まとめ

- ・ 今後のリーダーに必要な資質は「ビジョン・変革力・学び続ける力」である。
- ・ CBS は産業界との課題解決型連携や国際化（英語科目・海外人材受け入れ）を強化すべきである。
- ・ 在校生・修了生の声を踏まえた教育改善が継続されている。
- ・ CBS の強みは「実務課題に基づく学びと実践の連携」であり、他校との差別化になっている。

以上